

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会小委員会の設置について

分科会等名：教育改革と可視化小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>日本における科学的知見創出の低下が顕著となり、教育現場でのイノベーション人材と卓越した研究人材の育成が遅れている状況が指摘されている。従来の知識詰め込み型教育が主流である現状では、個々の学習者が持つ認知能力、作業記憶、非認知能力といった個人差が十分に考慮されず、批判的思考や創造力を発揮できる人材の育成が困難になっている。</p> <p>本小委員会は、この背景を受けて、個人差を可視化することにより教育の質を向上させ、日本の研究力の向上と、将来的な科学的知見の創出支援を目指すものである。具体的には、可視化技術を活用して学生一人ひとりの学習特性を明確にし、学習者の理解や創造力を促進する教育手法の開発・導入を図る。また、個人差に基づく指導を可能にすることで、学習者の潜在能力を引き出し、社会の発展に貢献するイノベーション人材を育成する教育環境の整備を促進する。</p>
4	審議事項	<p>1. 可視化技術の調査と適用方法の検討</p> <p>2. 教育効果の測定と評価方法の開発</p> <p>3. プライバシー及び倫理的・法的課題の検討</p> <p>4. 教育現場での導入支援と普及に向けたガイドライン作成に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年11月28日～令和8年9月30日
6	備考	